

日本語と韓国語における授受表現の対照研究

——日本語授受表現と韓国語授与動詞構文を中心に——

朱 炫姝 (筑波大学大学院 博士後期課程)

要 旨

本稿は日本語授受表現が「話し手の立場や視点」によって「てやる・あげる・さしあげる」「てくれる・くださる」「てもらう・いただく」表現に分かれるのに対して、韓国語では同様な点が見られないことに注目し、両言語の体系について『韓日並列コーパス』の例文を中心に考察したものである。その結果、『韓日並列コーパス』から合計 1,171 例の日本語授受表現が収集できた。日本語授受表現を韓国語直訳に当たる「어/아 주다[co/a juda]」という表現があるにも関わらず、実際には上記の表現以外に、授受の意が入っていない本動詞のみで訳されている例文が多く見られた。また、「てやる」と「てくれる」を「어/아 놓다[co/a notta:ておく]」「어/아 버리다[co/a beorida:てしまう]」と表現される例文が存在した。「てもらう・いただく」文の場合、韓国語では直訳の形式は有しないが、本動詞のみで表現された場合と、本動詞が省略されて授与動詞「받다[batta:もらう]」の本動詞として表現される場合があることが分かり、両言語における授受表現の相違点が指摘できた。

キーワード: 授受表現、韓国語の授与動詞、「てやる・あげる・さしあげる」「てくれる・くださる」「てもらう・いただく」、「어/아 주다[co/a juda]

1. はじめに

日本語では授受表現⁽¹⁾として「てやる・あげる・さしあげる」「てくれる・くださる」「てもらう・いただく」が扱われているが、韓国語に訳した場合に必ずしも授受表現になるとは限らない。

(1) 部屋を見せてもらえますか。

(2) 방을 볼 수 있을까요?

([bang-eul bol su issulkkayo]⁽²⁾ lit.:部屋を 見る こと できますか)

(例(1)(2)『韓日並列コーパス』)

例(1)の授受表現「てもらう」文は韓国語で直訳の言語表現が存在せず、例(2)のように可能表現を使用していることが分かる。日本語では、「私(話し手)はあなた(聞き手)に部屋を見せてもらえますか」というふうに、「部屋を見せる」動作の行動主(以下、行動主という)、「部屋を見せる」動作の受け手(以下、受け手という)の存在を明示しなくても理解できる。韓国語でも行動主と受け手が明示されていないが、「てもらう」という授受表現は使われていない。なぜかという韓国語には「해 받다[he batta:lit.てもらう]」という表現がないためである。

また、韓国語授与動詞構文⁽³⁾を日本語に訳す場合には、韓国語授与動詞「어/아 주다[co/a juda]」は動作主もしくは受け手を明示しなければ、日本語授受表現「てやる・あげる」「てくれる」「てもらう」⁽⁴⁾の例がすべて考えられるようになり、動作主と受け手の視点が特

定されていないことが指摘できよう。

本稿では、このような直訳の違いに着目し、日本語授受表現「てやる・あげる・さしあげる」「てくれる・くださる」「てもらう・いただく」の7つの動詞を取り上げ、その文法的な体系が韓国語授与動詞の体系とどのような共通点と相違点を有するかについて『韓日並列コーパス』⁽⁵⁾のデータを用いて分析する。

2. 先行研究の分析

日本語と韓国語の授受表現における対照研究は様々な研究がなされているが、本稿の内容と深く関わる研究は、奥津(1979)、林(1980)、尹(2008)がある。奥津(1979:23)は「朝鮮語には〔身内へ〕素性のないことが、大きなちがいである。これが日本と韓国の社会構造や社会意識の反映なのかどうか、興味ある問題である」と対照研究の意義について述べている。林(1980:119)は日本語授受表現が「韓国語ではあまり考慮に入れなくてもいい『話手のたつ側』の配慮、あるいは『話手の関与』という点が大きな意味」を持つと述べ、奥津(1979)と林(1980)では、「てもらう」文が韓国語ではないことを指摘し、韓国語のほうがより制約があることが共通的に述べられている。しかし、「てもらう」文の体系がないことを指摘することに留まっており、どのような文法的制約があるのかについては言及されていない。

尹(2008)では、韓国人日本語学習者の誤用例を挙げながら、「韓国語に視点の制約がない(ibid:20)」ため、母語の負の転移によって引き起こされたと述べている。だが、韓国語の授与動詞に制約がないと述べている点は、上記の奥津(1979)と林(1980)との解釈とは相反することである。

また、韓国語の授与動詞は幅広い範疇で研究がなされているが、代表的にリュウ(1995)とファン(2003)の研究がある。リュウ(1995:203)では、補助用言「어/아 주다[eo/a juda]」に二つの意味用法があり、行動の受け手に向けての行動と行動の受け手のための行動の二つ意味があると分析している。

(3) 주민들은 범인들에게 돌을 던져 주었다.

([juminduel-uen boeminduel-ege dol-eul deonjeo jueotta]

lit.住民たちは 犯人たちに 石を 投げて あげた・くれた)

(リュウ, 1995:103)

例(3)を見ると、第一、住民たちが警察のために石を投げる行為をした場合で、日本語にすると「犯人たちに向けて石を投げる」の意味があり、第二には住民たちが犯人たちの味方になり、「犯人たちのために石を投げる」の意味がある。つまり、韓国語授与動詞の「어/아 주다[eo/a juda]」は、本動詞にあたる動詞の受け手に向けての行為を表す場合と受け手のための行動である場合が想定できるという特徴を持つ。また、例(3)から「住民たちは我々警察のために犯人たちに石を投げてくれた」という文章で考えられるように日本語授受表現には「恩恵と利益」を表す表現として扱われるケースが多い。しかし、韓国語授与動詞にはこのような「恩恵と利益」を表す傾向がなく、例(4)のような場合、特定の場面の設定がなくても容認できる。反面、日本語の場合、例(5)は非難の意でしか考えられなく、容認されるには場面の想定が必要となる。

(4) 맛있는 도시락을 싸 주었다. ([mateomnun dosirak-uel ssa jueotta]

lit.美味しくない お弁当を作ってくれた)

(5)?美味しくないお弁当を作ってくれた。

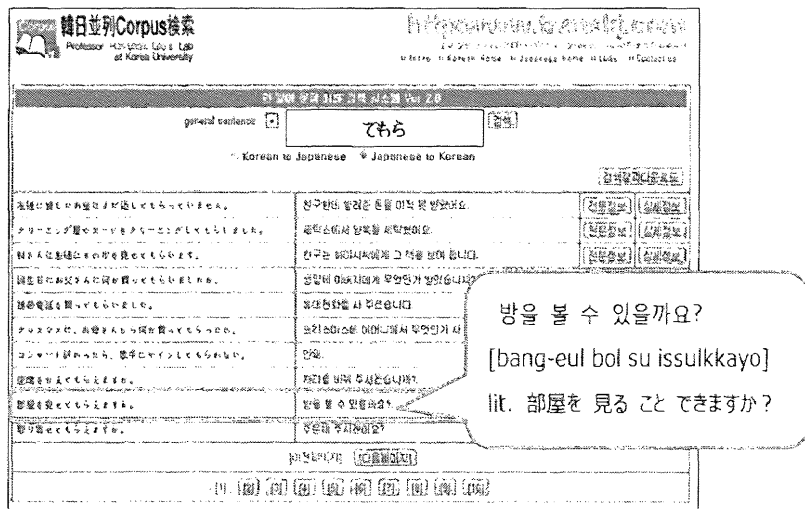
(例(4)(5)は筆者による)

また、ファン(2003)では、韓国語授与動詞構文の分析では「에게([ege]lit.(人を表す名詞に)」の解釈によって授与行為の対象が決まるため、文要素が持つ意味が重要となると指摘した。上記の韓国語授与動詞の研究では、韓国語授与動詞には「視点の制約」による使い分けがないことが分かる。

したがって、日本語授受表現の分析において韓国語の表現との比較を通して、日本語授受表現の体系をさらに客観的に考察できると考える。次節では、本稿の調査方法について説明する。

3. 調査方法および本研究のアプローチ

本稿では、日本語と韓国語の対訳コーパスである『韓日並列コーパス』⁽⁴⁾を利用し、「てやる・あげる・さしあげる」「てくれる・くださる」「てもらう・いただく」の例文を収集した。データ収集の詳細については、各表現のシソーラスをひらがな、カタカナ、漢字を含む形式および動詞の活用形をすべて考慮に入れて行った。以下、<図 1>にその例を示す。



<図 1> 韓日並列コーパス検索画面の例

まず、日本語授受表現に対して各々の韓国語直訳の形式について述べると次の<表 1>の通りである。

<表 1> 日本語授受表現に相当する韓国語授与動詞

てやる・てあげる	てさしあげる
어/아 주다[eo/a juda]	어/아 드리다[eo/a durida]
てくれる	てくださる
어/아 주다[eo/a juda]	어/아 주시다[eo/a jusida]
てもらう	ていただく
該当なし	該当なし

一方、韓国語授与動詞の「어/아 주다[eo/a juda]」の例(6)を、特定の場面の設定がない場合、日本語で考えられる表現は、例(7)のすべてのケースが想定できる。

(6) 그림책을 읽어 주었다. ([geurimchaek-eul ilgeo jueotta])

(7) a. 絵本を読んでやった/あげた。

b. 絵本を読んでくれた。

c. 絵本を読んでもらった。

(例(6)(7)は筆者による)

つまり、韓国語授与動詞「어/아 주다[eo/a juda]」は動作主もしくは受け手を明示しなければ、日本語授受表現「てやる・あげる」「てくれる」「てもらう」の例がすべて考えられるように、動作主と受け手の視点が自由である。

本稿では以上のことを踏まえ、日本語授受表現を中心に、韓国語の対訳表現の形式と比較し、日本語授受表現の体系をより明らかにする。

4. 授受表現における日韓両言語の体系

4.1. 『韓日並列コーパス』に現れる授受表現

出現した日本語授受表現の数は、「てやる」文が 87 例、「てあげる」文が 11 例、「てくれる」文が 103 例、「てくださる」文が 821 例、「てもらう」文は 94 例、「ていただく」文は 55 例であった⁽⁶⁾。

<表 2> 『韓日並列コーパス』に見られる授受表現の出現数

てやる	てあげる	てさしあげる
87	11	0
てくれる	てくださる	
103	821	
てもらう	ていただく	
94	55	

4.2. 日本語授受表現とその韓国語対訳表現における分析

『韓日並列コーパス』の用例から調べた韓国語対訳の表現をまとめると<表 3>の通りとなる。「てやる」「てあげる」「てくれる」「てくださる」の表現において、直訳の韓国語表現があるにもかかわらず、実際には直訳以外の表現が顕著であることが伺える。例えば、日本語授受表現が使用されているところに、韓国語においては授与動詞が省略され、本動詞のみで授与の意味を表す例、そして「어/아 놓다/두다[eo/a notta/duda:ておく]」「어/아 버리다[eo/a beorida:てしまう]」のような表現に捉えなおしている例もあった。最後に、「てもらう」「ていただく」については韓国語の直訳がないため、多様な表現が出現すると予想されるが、主に「받다[batta:もらう]」という本動詞が使用されている点が指摘できよう。

<表 3> 『韓日並列コーパス』に見られる日本語授受表現と韓国語の対訳表現について

タイプ		表現	てやる	てあげる	てくれる	てくださる	てもらう	ていただく
授受表現有	A	어/아 주다 [eo/a juda]	○	○	○	○		
	A'	授与動詞+尊敬もしくは謙遜を表す語		○	○		○	○
	A''	授受動詞のみ					○	
授受表現無	B	本動詞のみ	○	○	○		○	○
	C	어/아 놓다/두다 [eo/a notta/duda:ておく]	○		○			
	D	어/아 버리다 [eo/a beorida:てしまう]	○		○			
	E	意をやや強めていう語	○					
	F	어/아 달다 [eo/a dalda:て求める]			○			

コーパスから収集した用例を韓国語の対訳としてどのような言語形式を有するかについて調べた結果をまとめると上記の<表 3>となる。各タイプを見ながら説明しよう。

まず、A・A'・A''タイプには、韓国語の授与動詞の形式が反映されているタイプで、Aタイプは「어/아 주다[eo/a juda]」の授与動詞(補助用言用法)である。このタイプは、日本語の授受表現の直訳の形でそのまま言い表すことができる例である。例えば、例(8)がその例である。

(8) Aタイプの例

- a. 太郎に何か買ってやった?
- b. 타로에게 무언가 사 주었어? ([taro-ege mueonga sa jueosseo]
lit. 太郎に何か買ってやった?)

(『韓日並列コーパス』)

次に、A'タイプは、「授与動詞+尊敬もしくは謙遜を表す語」タイプであるが、このタイプの特徴は韓国語の授与動詞が使用されているが、そのままの形式ではなく「尊敬もしくは謙遜を表す語」が加えられた例である。代表的な例が例(7)であるが、ここでは話し手の父に対して、韓国語では尊敬語で言い表す対象であるため、身内でありながらも尊敬語尾の「-시(-si)」が入る要因となる。これについて主語の助詞の「께서[kkeseo](lit.~におかれまして)」と共起し、尊敬の意味として文の結束性が現れていることが分かる。

(9) A'タイプの例

- a. 父が私に授業料を送ってくれます。
- b. 아버지께서 나에게 수업료를 보내 주셨습니다.
([abeoji-kkeseo na-ege sueopryo-reul bone jusyosseumnida]
lit. 父におかれまして 私に 授業料を送って くださいました。)

(『韓日並列コーパス』)

また、A''タイプは、「本動詞が省略され、授与動詞のみ」現れるタイプである。ここでの特徴は、本動詞である動詞に「買う」「借りる」の形式がほとんどで、「てもらう・いただく」文で現れている。

(10) A''タイプの例

- a. プレゼントを買ってもらいましたか?
- b. 선물을 받았습니까?

([seonmul-eul badass-seumnikka] lit. プレゼントを もらいましたか?)

(『韓日並列コーパス』)

ここでの要因はまず韓国語の直訳である「해 받다[he batta:てもらう]」が不自然であり、かつ「買う」と授与動詞のなかで授与動詞のみで「買う」などの本動詞より優先されているためであると思う。省略現象において、省略されるほうが、省略されないほうより語彙の情報における重要度が低いこと(中右・神尾・高見、1998:135)が裏付けとして考えられ、ここでは「プレゼントを買う」より「プレゼントをもらう」という最終結果である「もらう」のほうが重要度の面においての優先されていることが分かる。

次のBタイプに「授与動詞が省略され、本動詞のみで表す」表現である。このような表現の特徴は、韓国語の本動詞の中に、授受表現の要素がすでに入っているケースである。

(11) Bタイプの例

- a. 彼の文学性を認めてもらったが。
- b. 그 문학성을 인정받았지만 ([geu munhaksung-eul injung-badassjiman]

lit. その 文学性を 認定受けたが)

(『韓日並列コーパス』)

例(11)のように「認めてもらった」の表現を韓国語では「인정받았지만[injung-badassjiman]」としており、授与動詞を補助用言用法として使用しなくてもすでに本動詞に構造に「受ける・もらう」などの要素が入っているケースである。ここでは、一つの動詞の語彙として「인정받다[injung-batta:認定受ける]」が使用されている。

続いて、次の例(12)(13)(14)では、授受表現の使用において、韓国語の対訳例の意味から授受動詞ではなく、異なる文末表現を持つ例である。

まず、例(12)は、「어/아 놓다/두다[eo/a nodda/duda:ておく]の使用」のCタイプの例である。「おんどりをはなしてやって」という表現を、「닭을 내려 놓고[dark-eul neryeo nohgo](lit. にわとりを降ろしておいて)」と対訳されている。

(12) Cタイプの例

- a. おんどりをはなしてやって様子をうかがった。
- b. 닭을 내려 놓고 상태를 살폈다.

([dark-eul neryeo nohgo sangtae-eul salpyeossda]

lit. にわとりを 降ろして おいて 状態を うかがった。)

(『韓日並列コーパス』)

ここでは、日本語の場合、「はなしてやる」と表すことで、「おんどり」に対しての行動が話し手から直接行われていることが分かる。一方、韓国語で授与動詞を使った「닭을 내려 주고[dark-eul neryeo jugo]」とすると、「にわとりをおろす」行為の行動主が誰であるか明

確に表すことができない。話し手自身でも他の人物でもその可能性が出てくるためであり、韓国語「어/아 주다[eo/a juda]」は「日本語で「てやる」文と「てくれる」文両方言い表せることについては上述した通りである。

次に、例(13)は、「어/아 버리다[eo/a beorida:てしまう]」の文末表現をとるケースであり、本稿ではDタイプとする。また、例(12)のEタイプは、授受表現の形式をとらず、「意をやや強めている表現」で表している特徴がある。

(13) Dタイプの例

a. 手でそのじゃがいもを肩ごしに押してやった。

b. 손으로 그 감자를 도로 어깨 너머로 쓱 밀어 버렸다.

([son-euro geu gamja-reul doro eokkae neomeo-ro sseuk mileo beoryeosdda]

lit. 手で そのじゃがいもを 元へ 肩ごしに そっと 押して しまった。)

(14) Eタイプの例

a. なぐってやろうかと思ったが

b. 후려칠까 하다가 ([huryeochilkka hadaga] lit. 殴り飛ばそうと したが)

(例(13)(14)『韓日並列コーパス』)

例(13)(14)は、授受表現において恩恵性を表さない表現で表されている。例(13)では韓国語「어/아 버리다[eo/a beorida:てしまう]」の使用を通して、本動詞「押す」行為の完了性が窺える。したがって、ここで日本語授受表現には行為の完了性を表す働きを有する可能性があるといえる。さらに、例(14)では、「なぐる」行為に「なぐってやる!」を使うことで、韓国語の対訳のように「殴り飛ばす」程度の行為の深化がされていることが予想できる。つまり、日本語授受表現の用法には、行為の程度を深める用法として作用するケースがあり、この場合には恩恵の意味として捉えにくい。

最後に、Fタイプは「어/아 달다[eo/a dalda:て求める]」表現である。このタイプの特徴は、授受表現と「～と頼む」などの依頼表現形式と共起することである。

(15) Fタイプの例

a. 茶を買ってくれと頼んでおいたのだが。

b. 차를 사 달라고 부탁해 두었던 것인데

([cha-reul sa dallago butakhe dueossdeon geosinde]

lit. 茶を 買って 求めて 頼んで おいた のだが)

(『韓日並列コーパス』)

例(15)を見ると、依頼表現「と頼む」などと共起する授受表現「てくれる」の場合で、韓国語では話し手に方向性ももつ表現「어/아 달다[eo/a dalda:て求める]」を対訳表現としてとっている。この表現は韓国語において他の授与動詞では方向性の面においてニュートラルな性格を持つが、「어/아 달다[eo/a dalda:て求める]」の場合、近接性があることが含意されているため、日本語授受表現「てくれる」に相当する表現であることが分かる。

以上、『韓日並列コーパス』に見られる日本語授受表現と、それに対応している韓国語対訳表現を用いて、A「어/아 주다[eo/a juda]の授与動詞(補助用言用法)」、A'「授与動詞+尊敬もしくは謙遜を表す語」、A''「本動詞が省略され、授与動詞のみ」のタイプ、B「授与動詞が省略され、本動詞のみで表す」、C「어/아 놓다/두다[eo/a nodda/duda:ておく]」の使用、

D「어/아 버리다[eo/a beorida:てしまう]」の文末表現、E「意をやや強めている表現」、F「어/아 달다[eo/a dalda:て求める]」表現、以上の8タイプの異なりを述べた。

5. おわりに

以上の調査を通して、日韓両言語の授受表現の体系について、『韓日並列コーパス』を用いて分析を行った。日本語授受表現において韓国語の直訳の形式が<表 1>のように単純な対応関係であるように見えたが、実際にコーパスを通して、対訳の形式を調査した結果、日本語の授受表現と韓国語の授与動詞が1対1で対応するかもしれないかの問題ではなく、<表 3>でまとめたように、さらに複雑な関係であることがわかった。つまり、韓国語対訳表現の意味を考えてみることで、より日本語授受表現の持つ用法の多様化がうかがえた。

今後の課題としては、韓国語の授与動詞と、日本語の授受表現の様相について明らかにし、両言語における授受表現の体系について一般させていくことに繋げたい。

注

- (1)授受表現に関する用語は様々であり、「受給動詞」「やりもらい表現」などがあるが、本稿では「授受表現」と統一する。
- (2)韓国語例文の[]は、韓国語ローマ字表記であり、韓国国立国語院の「語文規定」の「ローマ字表記法規定」により作成した。「lit.」は直訳(literal translation)を表し、筆者が行ったものである。
- (3)韓国語では「授受表現」という文法項目がなく、「授与動詞」をテーマとした先行研究があったため、本稿では「授与動詞」と表記する。「어/아 주다([eo/a juda]lit.「てあげる・くれる」)が代表的な韓国語「授与動詞」の補助用言である。
- (4)「어/아 주다[eo/a juda]」の待遇レベルは、敬語レベルが「0」である。「어/아 주시다[eo/a jusida]」の「-시-[si]」は尊敬語尾で、「てくださる」の意味を持つ。
- (5)『韓日並列コーパス』は韓国高麗大学校の李漢燮教授研究室が開発したコーパスで、韓国語と日本語を文(sentence)単位で整列させた並列テキストで構成されており、今までの構築量は約50,000センテンスである。データの出典は様々であるが、主に小説などの文学作品と、日本語の教材の会話、翻訳された書籍などである。
このコーパスは、2013年6月末、公開中止となったが、データの利用に関して開発先から承諾を得ている。
- (6)今回の調査において「てさしあげる」文の例文は出現しなかった。

参考文献

- 林八龍(イム・パルリョン)(1980)「日本語・韓国語の受給表現の対照研究」『日本語教育』40, 日本語教育学会, pp.113-121.
- 奥津敬一郎(1979)「日本語の授受動詞構文-英語・朝鮮語と比較して-」『人文学報』Vol.132, 首都大学東京都市教養学部 人文・社会系, 東京都立大学 人文学部, pp.1-27.
- 国語研究所編(1987)『日本語教育映画:基本編』日本シネセル, pp.153-159.
- 塚本秀樹(2012)『形態論と統語論の相互作用-日本語と朝鮮語の対照言語学的研究-』ひつ

じ書房, pp.265-287.

中右実・神尾昭雄・高見健一 (1998) 「第Ⅱ部 第1章省略」『日英語比較選書2 談話と情報構造』研究社, pp.265-287.

日本語教育学会 編 (2005) 『新版日本語教育事典』大修館書店, pp.696-697.

ファン・ボンヒ (2003) 『國語 授與動詞 構文 研究』慶熙大學校 國語國文學科 碩士學位論文

山岡政紀 (2008) 『発話機能論』くろしお出版

尹喜貞(ユン・ヒジョン) (2008) 「日本語の授受動詞における本動詞と補助動詞の習得について-JFLとJSLの韓国人学習者を対象に-」『韓国日本語文学会 学術発表大会論文集』2008-4, 韓国日本語文学会, pp.17-20.

リュウ・シジョン (1995) 「韓國語 ‘~어 주다’ 構文에 對한 研究」『言語學』17, 韓國言語學會, pp.99-114.

韓国国立国語院の「語文規定」の「ローマ字表記法規定」

< http://www.korean.go.kr/09_new/dic/rule/rule_roman_0101.jsp >, 2012年9月より参照

『韓日並列コーパス』(高麗大校/李漢燮教授 研究室開発)

< <http://www.transkj.com> >, 2012年9月より参照

(朱炫姝、筑波大学大学院博士後期課程、murasakiju@gmail.com)